【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2016年11週の県全体の定点当たり報告数は、10週の27.78から減少し20.36となった。減少傾向にあるものの報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

保健所別では、16保健所全ての保健所管内で減少し、松戸(27.46)、印旛(26.33)、君津(22.00)、千葉市(21.41)、船橋市(21.35)、山武(21.13)、海匝(20.86)、夷隅(20.40)で多かった。

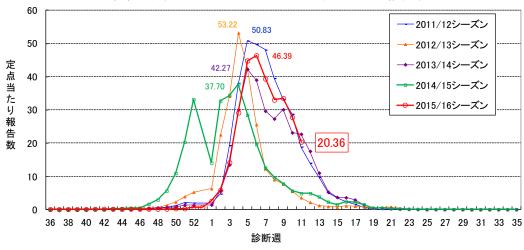
2015/16シーズン全体の年齢群別報告

型別迅速診断報告数 7000 ■B型 28166例 ■ A&B型 131例 ■ AorB型 353例 ■A型 31911例 6000 5000 型別報告数 4000 3000 2000 1000 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 5903例 8955例 9288例 8002例 6760例 6810例 5584例 4077例 診断调

2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ

割合は、 $5\sim9歳(34.8\%)$ 、 $0\sim4歳(17.7\%)$ 、 $10\sim14歳(17.1\%)$ で多い。

2016年11週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、4,077例中A型824例(20.2%)、B型3,219例(79.0%)、A and B型8例(0.2%)、A or B型26例(0.6%)であった。2015/16シーズン合計では、60,561例中A型31,911例(52.7%)、B型28,166例(46.5%)、A and B型131例(0.2%)、A or B型353例(0.6%)であった。



千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数